

ブルー&ラズ・ベリーの郷づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 「チーム志平」は、平成 18 年 7 月の豪雨災害の土石流の被害に遭った住民や災害復旧作業でも汗を流した仲間が、地域の活性化につながることを自分達の手で手がけようと結成された。
- 岡谷市志平地区は、野生鳥獣による農作物被害により遊休荒廃農地が多く発生しており、これらを解消するため、地域で栽培実績のないブルーベリーとラズベリーの農園整備を行い、農地の有効活用を図る。
- 地元小学生を対象とした農業体験等を行い、取ったり、食べたり、見つけたりするといった食と農業の学習を通じて、思いやりと感動する心を養う。

事業内容

- 遊休荒廃農地の復旧、ブルーベリー、ラズベリーの植樹、鳥獣被害対策として防護柵の設置を行った。
 - ・ 復旧面積 A=10 a
 - ・ 植樹本数 140 本
 - ・ 農地復旧・防護柵設置作業（延べ 56 名参加）
 - ・ 植樹・チップ敷作業（延べ 102 名参加）
- 農業体験学習の推進
 地元小学生を対象とした、植樹、摘み取り体験を実施（子ども 50 名参加）



【植樹の様子】

事業効果

- 遊休荒廃農地有効活用、美しい農村景観の保全が図られた。（累計面積 A=35 a）
- 農園の周辺は鹿や猪が出没しているが、防護柵の設置により、進入の防止に効果があった。（被害額の削減 △3,500 千円）
- 地元小学生を対象とした植樹や摘み取り体験を通じて、農業や地元の山に親しむ心が醸成された。
- 会員の取り組み意欲の向上が見られ、地域の住民からも注目されるようになった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今後の主な取り組み
 - ・ 栽培面積の拡大（平成 28 年度までに 60 a を目標）
 - ・ 農園で取れた作物の学校給食への提供、収穫物の加工（ジャム作り）地元の団体へ提供
 - ・ 保育園児の摘み取り遠足を実施（平成 21 年度）
 - ・ 都市住民との交流を行うために農園を利用（観光農園）
 - ・ 直売所を設け、ブルーベリー・ラズベリー・ブラックベリーの販売
 - ・ 他品目の栽培（そば、カシス、ハスカップ）

【選定のポイント】

地域の活性化のために、住民が主体的、意欲的に事業に取り組んでいる姿がうかがえ、また、今後の取り組みや目標も明確になっており、一層の地域の活性化への取り組みが期待できる。

団体名	チーム志平（岡谷市）	事業タイプ	ソフト事業・ハード事業
連絡先	事務局（高林 栄治）	事業費	439,382 円
	電話 0266-24-4513	支援金額	375,000 円